

国際化社会に 対応できる人材を 育む

近年グローバル化が急速に進んでいる中で、国際共通語である英語力の向上は、日本の将来にとって、たいへん重要といわれています。

和水町にある保育園などで、英語に親しむ機会を提供することにより、幼児期の子どもの豊かな人間関係を育み、国際化社会に対応できる人材を育成するための取り組みが始まりました。
神尾保育園の活動風景をお伝えします。



「一人一人が大切な存在」
日ごろから園児に伝えていること

「Good morning」先生が園児に話し掛けます。

「Good morning」と元気に返事をしながら、園児は先生のそばに駆け寄りま

す。「日ごろから、世の中にはいろいろな人がいて、『一人一人が大切な存在』ということ伝えていきます。外国人の先生と触れ合い楽しい時間を過ごすことによって、園児たちが、目や肌の色、話す言葉などが違う人がいることを知り、お互い認め合いながら人と関わっていくという意識付けができています」と神尾保育園の園長先生は話します。

人と関わる力を養い
コミュニケーション能力を高める

英語活動は、まずあいさつから始まります。あいさつは人と接するときの基本です。先生が「My name is Joe 先生」と体を動かしながら言う、たちまち園児たちが先生のとりこになります。次に「How's the weather?」と先生が尋ねると、すぐに「It's sunny」と園児たちの声が飛び交います。それから「Good morning」(歌)のつて園児同士英語であいさつをします。この導入部をしっかりと行うことによって人と関わる力を養います。

それが終わると、アクションゲームをしたりフラッシュカードを使ったりして、体を動かしながら、動作や状態を表す英単語を学習します。「Stand up」「Sit down」「Fast」「Slow」などの単語が出てきます。園児は先生の声にすぐ反応し、立ったり座ったりしていました。このように身近な言葉を使うことで、容易に英語でコミュニケーションをはかる力を高

めていきます。

最後に「goodbye song」を歌いながら園児一人一人とタッチして英語活動終了です。活動中、園児たちは、ずっと先生に夢中で、楽しく元気に英語を学んでいます。そして自然と英語で言葉が出ていました。

「人は生きていく中で自分の考えや思いを表現する場面がたくさんあります。英語はそれを表現する手段の

一つです。日常生活に必要な英語を学ぶことによって、自分とは異なる文化を持つ人に親しみをもち、英語で積極的にコミュニケーションができる人材の育成を目指します。さらに英語の学習とともに、日本の文化についても伝えていきたいと考えています」と、園長先生は思いを語りました。

一つです。日常生活に必要な英語を学ぶことによって、自分とは異なる文化を持つ人に親しみをもち、英語で積極的にコミュニケーションができる人材の育成を目指します。さらに英語の学習とともに、日本の文化についても伝えていきたいと考えています」と、園長先生は思いを語りました。

神尾保育園園児(年長)に インタビュー



つばきはら ひろと
椿原 大翔くん

ジョー先生は面白いから英語の時間がいつも楽しみです。英語を習っているの、家でも家族に教えたり話したりしています。

外国の人に会ったときは、英語であいさつなどしてみたいです。



なかやま いさき
中山 維咲ちゃん

英語の時間は楽しいです。ダンスが一番楽しいです。英語は好きなので、話せるようになりたいと思います。

これからも英語の間を続けて欲しいです。

ジョエル先生に インタビュー



幼児英語教育講師

ジョエル コンウェイ フォールズ
Joel Conway-Folds (ジョー)

1991年2月2日生(28歳)

イギリス出身

ハードフォードシャー大学卒

和水町の園児は、優しく、純粋で、英語を理解するのが速いと思います。発音も上手です。

乳幼児が英語を勉強するときに一番大切なことは、楽しいと感じること。園児たちの個性もあるので、みんなが英語を習得しやすいように、ゲームやダンスなどいろいろな方法を取り入れて教えています。

この時期に英語に触れている子どもは、大人になってからも英語に対して苦手意識がないので、とてもよいことだと思います。

これからも和水町で英語を教えることができれば嬉しく思います。

頑張りますので皆さんどうぞよろしくお願いします。